

『橋梁点検の今』

橋梁点検の法定化から11年(3巡目)。インフラメンテナンスの起点となる「点検技術」の現在地について考えます。

長野県コンクリート補修・補強協会

NAGANO CONCRETE REPAIR ASSOCIATION

拡大研修会

令和6年10月18日(金)

13時00分～17時00分(受付12時30分)

松筑建設会館 長野県松本合同庁舎隣り

主催者あいさつ

13時00分

窪田 雅 則 長野県コンクリート補修・補強協会会長

『長野県における橋梁点検の今とこれから』

13時05分～13時40分

山本 浩二氏 長野県建設部道路管理課 課長補佐兼市町村道係長

◆当協会も構成員として参画している「信州橋梁メンテナンス支援協議会」。橋梁 MAE 認定者数も500名を超える中、取り組みの現状や今後の方向性等をお聞きします。

『RC 床版劣化・損傷検出システム(CQ ドクター)について』

13時45分～14時30分

山田 桂氏 技建開発(株) 技術部設計課長

◆電磁波レーダで測定した橋梁床版のデータを用い、近接目視では把握が難しい不可視部分の床版上面の損傷を高精度で検出、カラー分布表示により可視化する等、点検・調査設計業務を支援する技術「CQ ドクター」について紹介していただきます。

『点群で維持管理～最新の「差分解析」技術のご紹介～』

14時35分～15時20分

波場 貴士氏 (株)アイ・エス・ピー 代表取締役

◆点群データを活用して構造物表面の変状や損傷部を可視化する「差分解析」システムにより、変状箇所の早期発見や、打音調査・損傷図作成等の点検業務を支援する最新の維持管理技術について事例を交えながら紹介していただきます。

休 憩

15時20分～15時30分

『橋梁点検に関する国土交通省の取組み

～法定点検制度とアセットマネジメント～』

15時30分～17時00分

玉越 隆史氏 国土技術政策総合研究所 道路構造物機能復旧研究官
京都大学経営管理研究部 特命教授
博士(工学)

◆2024年3月に10年間運用された道路橋の法定点検制度が見直されました。講演では、定期点検制度導入までの経緯を振り返り、今般の見直しの意義と狙いについて、日本の道路構造物の維持管理の現状と課題、最新の取り組みとともに解説していただきます。

〈主な経歴〉

1991～本四公団(現本四高速)
1999～建設省土木研究所
2001～国土技術政策総合研究所
2019～2021 京都大学 特定教授

〈主な著作〉

「性能保証型インフラアセットマネジメント」コロナ社(単著)
「実践道路アセットマネジメント入門」コロナ社(共著)

閉会あいさつ

17時00分

佐藤 謙也 長野県コンクリート補修・補強協会 副会長

・ご質問は事務局までお寄せください。☎ 0265-82-3201 📧 koide-s@kubocon.co.jp (杉山・小出)

・本研修会は CPDS 認定プログラムです(4ユニット)。事務局が一括して代行申請致します。

・定員120名。定員に達し次第受付を終了させていただきます。



長野県コンクリート補修・補強協会